

◆2025年6月の新刊

日本キリスト教団出版局

バルトによる説教論

聖霊に導かれる説教黙想とは何か



2025年
6月20日
刊行予定

う え だ み つ ま さ

上田光正 著

1942年、東京生まれ。1966年、東京神学大学大学院修士課程修了。1968年、東京大学大学院修士課程修了(哲学)。1968-1973年、ドイツ留学。神学博士号取得(組織神学)。帰国後、日本基督教団安芸教会、若草教会、美竹教会、曳舟教会牧師を歴任。現在は日本基督教団伊東教会協力牧師。

名説教者としても知られたカール・バルト。『教会教義学』『神の言葉』と、ボン大学での説教学演習記録から、真に「キリストを語る」説教に必要な神学と、聖書のメッセージを正しく聴き取るための「追思考」(説教黙想)の実践を学ぶ。全ての説教者と説教の聴き手に献げる。

A5判・並製・184頁・定価3,080円(本体2,800円+税)
ISBN978-4-8184-1197-5 C1016

目次

第一章 説教の義認

——神からの所与とわれわれの課題

1. 神は語られた。また、語られるであろう
2. 説教は教会の礼拝の中で行われる
3. 説教は神の命令に対する人間の服従として行われる

第二章 説教の聖化——説教作成の実際

1. 説教の聖化について
2. 説教の聖書適合性について
3. 説教における独創性について
4. 説教の会衆適合性について
5. 説教の作成へ

【好評発売中】『カール・バルト入門——21世紀に和解を語る神学』 上田光正 定価2,640円

◆2025年6月の新刊

日本キリスト教団出版局

イザヤ書全体を読み通すための最高のガイドブック、完結！

イザヤ書を読もう 下

慰めよ、私の民を

お お し ま ち から

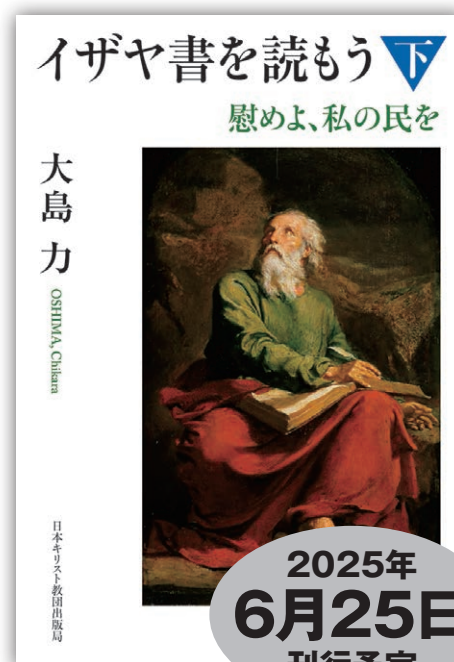
大島 力 著

1953年生。東北大学文学部史学科卒（西洋史専攻）、東京神学大学大学院博士課程後期修了（旧約聖書神学）。日本基督教団石神井教会牧師を経て、青山学院大学宗教主任・経済学部教授。現在、青山学院大学名誉教授、博士（神学）。2024年逝去。

捕囚の絶望の民に慰めを語る第二イザヤ（イザヤ書40～55章）、祖国に帰還した民に希望を指し示す第三イザヤ（56～66章）。暗い時代に輝く福音を、イザヤ書の専門家であり、熟練の説教者である著者が読み解く。イザヤ書通読のための必携書、いよいよ完結。

四六判・並製・208頁・定価2,640円（本体2,400円＋税）

ISBN978-4-8184-1198-2 C0016



【好評発売中】『イザヤ書を読もう 上——ここに私がおります』大島 力 定価2,640円

イザヤ書は私たちにとって、様々な宝石が雑然と入れられている宝石箱のように感じられているのではないのでしょうか。本書は、その宝石箱の中身を分類し、整理し、どのような宝石がどこにあり、それぞれがどのように繋がっているのかを示してくれます。わが国におけるイザヤ書研究の第一人者である著者だからこそなし得る業です。本書によって、雑然としたイメージだった宝石箱に仕切りが設けられ、どこにどのような宝石がどのような輝きを放って存在しているのかがはっきりします。そして同時にこの宝石箱が、全体としてあるストーリーを持っており、メッセージを持っていることが示されるのです。（横浜指路教会・藤掛順一牧師／『本のひろば』2025年2月号より）



カルヴィニズム

A.カイパー〔著〕 日本カルヴィニスト協会〔訳〕

有神論的世界観の確立のために

「カルヴィニズム」という用語を、従来の神学的・教派的用語に限定せず、政治・科学・芸術を含めた人間の生の全領域に関わる「世界観」として展開したアブラハム・カイパー。1898年に米国プリンストン神学校の「ストーン講義」で語った記念碑的講演。

「カイパーの意図は、特定の教義的・教會的伝統を宣伝することではなく、むしろフランス革命や進化論の隆盛によってもたらされた近代主義による危機的影響とキリスト教の衰退に対して、すべての教会・キリスト者が聖書的・宗教改革的原理に基づく人生観・世界観に立ち返ること、これを社会の全領域において自信と確信をもって推進すること、そして、それこそが世界の希望であることを示すことでした」。(吉田 隆「解説・あとがき」より)

❖著者 A.カイパー (Abraham Kuyper, 1837-1920) オランダの牧師・神学者・編集者・政治家。1901-05年にはオランダの首相を務めた。

❖訳者 日本カルヴィニスト協会 (Japan Calvinist Association) 1954年に結成され、日本におけるキリスト教的有神的文化の樹立を目指して講演会や翻訳などの活動を行う。



四六判・並製・300頁・定価2,860円(本体2,600円+税) ISBN978-4-7642-6765-7 C3016

新教出版社 新刊案内 2025 年 6 月 25 日発売

私が出会った人々

神の庭にて

大野恵正 [著]

神から与えられた忘れがたい出会いを 綴る珠玉の随想集

四六判・並製・190 頁・本体 1800 円（税込定価 1980 円）
ISBN 978-4-400-51772-6 C1016

「人間は、根源的には神との出会いの中で、一般的には人々との出会いの中で、形成されていくものだと思う。私という人間は、私ひとりによる自己形成の結果などではなく、人生の道々で出会った数々の人々との触れ合いの中で形づくられたものである。そのような出会いを計らったのは私には神を除いては考えることができない。したがって、私にとってその人々との出会いは決定的に神学的意味を持つものだった。だからその出会いを、私が受けた恵みの証言としてお伝えしたいと思うのである。」

（本書より）

【著者】 おおの・よしまさ氏は 1939 年東京に生まれる。東京神学大学大学院修了。日本基督教団長野県町教会、伊東教会、浜松教会で牧師。1981-2008 年活水女子大学教授、2009-2011 年長崎外国語大学客員教授。その間、新共同訳聖書旧約部門翻訳委員、西南学院大学神学部非常勤講師を歴任。現在活水女子大学名誉教授。著書：『神と人間』（1995 年）、『永遠の支え』（1995 年）、『新共同訳 旧約聖書注解 I』（共著、1996 年）、『聖書と音楽』（2000 年）、『新共同訳 旧約聖書略解』（共著、2001 年）、『旧約聖書入門』 1～4（2013～22 年）、『神の言葉と契約』（2021 年）。

【目次より】

奥野政元先生	石井次郎先生
斉藤宏先生と潤さん	高崎毅先生
松本美実先生	加茂巖先生と美恵子さん
松野直喜さんと詩子さん	清水恵三牧師と寿子さん
マルコ・マリ・ド・ロ神父	落忠男先生
音楽の先生方	井上良雄先生
指揮者ヘルベルト・ブロム シュテット先生	高橋良隆先生
仲田豊さん	笠原光雄さんと桂子さん
左近淑先生	仲田和子さん
福田正俊先生	ズザナ・ルージチコヴァさん
盛谷祐三牧師と聖子さん	大住雄一先生
相田武さん	中村哲先生
小泉博さん	森岡巖さん
小柳茂さん	渡辺信夫先生
	大野佳子さん

新教出版社 オンデマンド復刊 [買切] 2025 年 6 月 10 日発売

戦争・平和・キリスト者

ローランド・ベイントン [著] / 中村妙子 [訳]

古代から現代にいたる 戦争の思想史

著名な教会史家が、古代から現代にいたるユダヤ・キリスト教の伝統の中で戦争観・平和観がいかに変遷したかを辿り、キリスト教会の功罪を正面から見据えつつ、福音信仰に依って立つ平和創造の可能性を問う。

原書は 1960 年刊行。中村妙子氏の邦訳は 1963 年に刊行された。長く品切れだった名著を、戦後 80 年記念復刊として送る。

【著者】ローランド・H・ベイントン (1894-1984) は、名著『われここに立つ』『宗教改革史』を含む多くの邦訳によってわが国にもよく知られた教会史家である。英国に生まれたが、8 歳のとき組合教会の牧師だった父に伴なわれて渡米し、イエール大学で学位を得た。以来停年退職まで約 40 年にわたってイエール神学校で教会史を講じ、多数の著書・論文を公にすると共に、多くの優れた研究者を育て上げた。再洗礼派に共感を寄せる平和主義者としても知られる。

A 5 判・並製・357 + 41 頁・本体 5450 円 (税込定価 5995 円)
ISBN 978-4-400-21346-8 C1016

【目次より】

第一章	古代における平和の理想	第九章	宗教戦争
第二章	正義の戦いの古典的起源	第十章	歴史的に平和主義をとる教派について／原住民に対する戦争について
第三章	旧約聖書における十字軍思想の淵源	第十一章	啓蒙時代
第四章	新約聖書における戦争と平和	第十二章	ウォータールーからハルマケドンまで／比較的平和な時代
第五章	古代教会の平和主義	第十三章	戦争追放から原爆まで
第六章	キリスト教公認後のローマ帝国における正義の戦いの理論	第十四章	過去と現在
第七章	正義の戦いから十字軍、および分派の平和主義へ	第十五章	もし、然らば
第八章	文芸復興期におけるユートピア思想と正義の戦いの理論の復活		



大頭眞一 「焚き火を囲んで聴く神の物語・新約聖書説教篇」[全4冊] 解説 今井裕也



ヨベル新書 102

わたしを誰と呼ぶか

——マルコの福音書 II (3:31～8章)

第2弾!

6月15日刊行予定

壊れた世界のただ中で回復の礎に。

奇跡と癒やしの記事に満ちた福音書。しかしイエスはスーパーパワーの超人としてではなく、壊れてしまったこの世界のただ中に立って、神の秩序へと回復するために身体をはって駆け巡る行動人として描かれた。丁寧に読み解きその息吹を今に伝える熱血の第2弾!

今井 裕也氏

「理解するのではない。既に到来しているのだから理解していなくても飛び込むのである」というのが、大頭師が説くイエスさまの福音に対して採るべき態度ですが、それがはっきりと示されているのがこの説教集です。……ことあるごとに、しつこいほどに悔い改めない人を惜しまれ、しつこいほどに関わってくるイエスさまの姿が、説教では語られます。……(「解説」より)

大頭 眞一 (おおず・しんいち)

1960年神戸市生まれ。北海道大学経済学部卒業後、三菱重工に勤務。英国マンチェスターのナザレン・セオロジカル・カレッジ(BA、MA)と関西聖書神学校で学ぶ。日本イエス・キリスト教団香登教会伝道師・副牧師を経て、現在、京都府・京都信愛教会/天授ヶ岡教会/明野キリスト教会牧師、関西聖書神学校講師。

主な著書:『聖書は物語る』(2013、2025^o)、『聖書はさらに物語る』(2015、2024^o)、共著:『焚き火を囲んで聴く神の物語・対話篇』(2017、品切)、『アブラハムと神さまと星空と 創世記・上』(2019、2024^o)、『天からはしご 創世記・下』(2020、2022^o)、『栄光への脱出 出エジプト記』(2021、2024^o)、『聖なる神聖なる民 レビ記』(2021、2024^o)、『何度でも 何度でも 愛 民数記』(2021、2024^o)、『えらべ、いのちを 申命記・上』、『神さまの宝もの 申命記・中』(2023)、『いのち果てる 申命記・下』(2023)、『聖化の再発見 ジパング篇』(2024)、『時が満ちて マルコの福音書 I』(2025、以上ヨベル)、『焚き火を囲んで聴くキリスト教入門』(2023年、いのちのことば社)、『牧師・大頭の「焚き火日記」』(2024年、キリスト新聞社)、『こどものための神のものがたり』(2024年、発行:からしだね書店 発売:ヨベル)、ほか

主な訳書:マイケル・ロダー「神の物語」(日本聖化協力会出版委員会、2011、2012^o)、マイケル・ロダー「神の物語 上・下」(ヨベル新書、2017、2025^o)、英国ナザレン神学校著「聖化の再発見 上・下」(共訳、いのちのことば社、2022)、ほか

主な目次

兄弟と呼んでくださるお方 (3章 31～35節)
実を結ばせるお方 (4章 1～20節)
秘密を明かすお方 (4章 1～20節)
耳を開いてくださるお方 (4章 21～25節)
成長させてくださるお方 (4章 26～34節)
信じさせてくださるお方 (4章 35～41節)
家に帰らせてくださるお方 (5章 1～20節)
起き上がらせてくださるお方 (5章 21～43節)
恐れから解き放つお方 (5章 21～43節)
驚くべきお方 (6章 1～6節)
遣わしてくださるお方 (6章 6～13節)
語りかけてくださるお方 (6章 14～29節)
もちいてくださるお方 (6章 30～44節)
来てくださるお方 (6章 45～56節)
自由を与えるお方 (7章 1～13節)
分かせてくださるお方 (7章 14～23節)
願わせてくださるお方 (7章 24～30節)
耳を開いてくださるお方 その2 (7章 31～37節)
恵みを覚えさせてくださるお方 (8章 1～21節)
目を上げさせてくださるお方 (8章 22～26節)
救い主であるお方 (8章 27～30節)
ついていかせてくださるお方 (8章 31～38節)
十字架に架けられたお方 (8章 31～38節)、ほか



1 時が満ちて (1章～3章)

——マルコの福音書 I

新書判・224頁・本体1,300円(税別)
ISBN978-4-911054-44-7 C0216 <第1回配本>

焚き火を囲んで聴く神の物語

・新約聖書説教篇 全4冊内訳

2025年全巻完結予定

新書判・平均256頁

本体1,300円～本体1,400円

1 時が満ちて

——マルコの福音書 I

224頁・本体1,300円 <第1回配本>

2 わたしを誰と呼ぶか

——マルコの福音書 II

282頁・本体1,500円 <第2回配本>

3 この杯を飲め

さあ、行こう <第3回配本>

<第4回配本>



YOBEL 新書 107

新書判・282頁・定価1,650円(税込)

ISBN978-4-911054-52-9 C0216 本体1,500円+税



H. ノーマン・ライト 前島常郎訳

悲しみを道連れに生きる 25のヒント

H. Norman Wright *Experiencing Grief*, 2004

YOBEL
ヨベル新書 109

7月1日刊行予定



悲しむことから 休みを取ろうと思える日は来る！

結婚・家族・児童および、悲嘆・トラウマのクリスチャンカウンセラーとしてアメリカで30年以上のキャリアを持つ著者が、人生の静かなる同伴者とも言うべき〈悲しみ〉について語る。それを否認・排除することをやめ、道連れとして共に旅するように生きることへと勇気を与えてくれる珠玉の25章。

著者略歴：

H・ノーマン・ライト (H. Norman Wright D. Min. 1937-2023)

結婚・家庭・児童カウンセラーまた悲嘆・トラウマカウンセラーとして30年間以上奉職。バイオラ大学、タルボット神学校などで教える。全米クリスチャンカウンセラー協会会員。重度知的障がいの子を失った。百以上の著書がある。

訳者略歴：

前島常郎 (まえじま・つねお 1953-)

東京外国語大学スペイン語科、聖書神学舎、ゴードン・コンウェル神学校、トリニティー神学校をそれぞれ卒業。ナインの会(クリスチャン自死遺族のコミュニティ)世話人。

主な目次

序 章

- 第1章 悲しみが見せる様々な顔
- 第2章 痛みと否認
- 第3章 すべてが乱される
- 第4章 人と比べない
- 第5章 なぜ悲しむのか
- 第6章 困惑
- 第7章 心の風穴
- 第8章 答えを求める叫び
- 第9章 涙という表現
- 第10章 あなたはひとりではない
- 第11章 恐れと不安
- 第12章 自責の念
- 第13章 怒り
- 第14章 悲しみはなくなるのか？
- 第15章 人それぞれ
- 第16章 口ににくい感情
- 第17章 複雑な死因
- 第18章 記念日
- 第19章 思い出
- 第20章 回復
- 第21章 未解決の問題
- 第22章 別れを告げる
- 第23章 前に進む
- 第24章 悲しみの終わり
- 第25章 トラウマ | 最も深い傷

教会内における
性的虐待問題の世界的権威、
心理学者 D. ラングバークの
名著、待望の邦訳！

Redeeming Power
Understanding Authority
and Abuse in the Church
by Diane Langberg
**パワハラ・セクハラと
キリスト教会
——権威とその乱用——**
ダイアン・ラングバーク [著] 前島常郎訳

信仰を守りたいなら、
黙っていなさい！
神にふさわしくないことを行い、
神の名を守るために組織ぐるみで
一致して隠蔽する…キリスト教会
にも果敢と虐待の構図を
犠牲者・被害者双方の
視点から描き出し、権威の
乱用によって傷つき
遠ざかれた信仰者を
再び立ち上げさせる書！
教会内における性被害・虐待問題の
世界的権威、心理学者ダイアン・
ラングバークの名著、待望の邦訳！
YOBEL Inc. 全書 4冊 | 2023年刊行

**パワハラ・セクハラと
キリスト教会**
ダイアン・ラングバーク [著]
前島常郎訳

在庫僅少

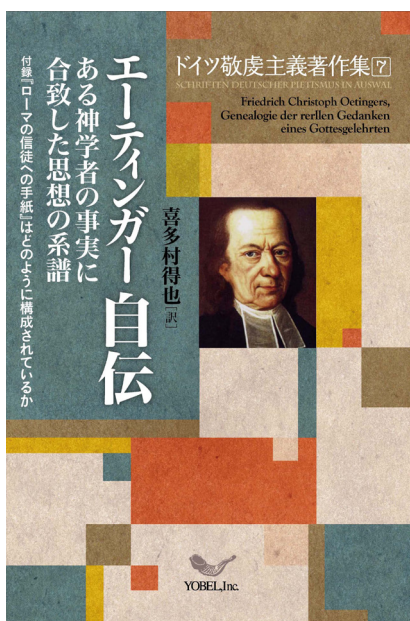
四六判・288頁・定価1,980円(税込)
1,800円+税 ISBN978-4-911054-40-6 C0016

YOBEL 新書 109
新書判・136頁・定価1,210円(税込)
ISBN978-4-911054-55-0 C0216 本体1,100円+税



本邦初訳！

7月10日刊行予定



四六判上製・304頁・2,310円(税込)
本体2,100円+税 ISBN978-4-911054-06-2 C0016

エーティンガー [著] 喜多村得也 [訳]

ドイツ敬虔主義著作集 ⑦

[第3回配本]

自伝 ある神学者の事実に合致した思想の系譜



自伝の白眉登場！

モラヴィア兄弟団を主導したツィンツェンドルフ伯爵、ユダヤ人カバラー学者コッペル・ヘヒト、視霊者スウェーデンボルグをはじめ、あまたの思想家との直截で物怖じしない交遊を通じて思索を重ね、次第に独自の神学へと到達し、最後には無邪気な子供のようになって生涯を閉じたといわれるエーティンガーによる自伝。

〈付録『ローマの信徒への手紙』はどのように構成されているか〉

主な目次

序文 (J・レッスル)

ある神学者の事実に合致した思想の系譜

少年時代と生徒時代

ブラウボーレンの修道院付属学校にて

ペーベンハウゼンにて

靈感主義者との出会い

チュービンゲンの神学校にて

ヤーコブ・ペーメの著作を知る

哲学研究

教父およびラビの研究

第一次の旅行

神学校の補習教師として

第二次の旅行

故郷への帰還とヒルザウでの就職

シュナイトハイムとヴァルトドルフにて

ヴァインスベルクとヘレンベルクにて

ムルハルトの牧師監督長として

豊かな生活の終章

エーティンガーの生涯の重要年表

付録『ローマの信徒への手紙』はどのよ

うに構成されているか

解説／あとがき

ドイツ敬虔主義著作集全10巻

第1巻 シュペーナー『敬虔なる願望』佐藤貴史、金子晴勇訳

第2巻 シュペーナー『新しい人間』山下和也訳 [好評既刊 第2回配本] 3080円

第3巻 シュペーナー『再生』金子晴勇訳

第4巻 フランケ『回心の開始と継続』菱刈晃夫訳

第5巻 ベンゲル『グノーモン』と『歩んだ道と言葉』金子晴勇訳

第6巻 ツィンツェンドルフ『福音的真理』金子晴勇訳 [第4回配本予定]

第7巻 エーティンガー『自伝』喜多村得也訳 [第3回配本]

第8巻 エーティンガー『聖なる哲学』喜多村得也訳 [好評既刊 第1回配本] 2200円

第9巻 テルステーゲン『真理の道』金子晴勇訳

第10巻 ドイツ敬虔主義の研究

訳者紹介 喜多村得也 (きたむら・とくや) 1944年生まれ。1968年早稲田大学卒業、1972年早稲田大学大学院ドイツ文学修士。1971年昭和大学講師、1978年同大学助教授、1992年同大学教授(2009年まで)、同大学名誉教授。海外研修；1973年チューリッヒ Euro-zentren にてドイツ語研修、1979年西ドイツ Humboldt Institut にてドイツ語研修、1992年ドイツ、Berlin Humboldt 大学国際ドイツ語教員ゼミナール研修、1996年ドイツ、Kassel 大学言語文化研究所にて研修、他研修多数。2023年逝去。

訳書：エーティンガー『聖なる哲学——キリスト教思想の精選集』、ヨベル、2023年。**共訳：**カッシーラー遺稿集第一巻『象徴形式の形而上学のために』、法政大学出版局、2009年。**論文：**「若きゲーテの宗教性について」(早大修士論文)1972年、「聖書とゲーテ」序論、1973年、「若いゲーテの宗教的探究と『牧師の手紙』について」1977年、「ゲーテの宇宙発生論的神話」1985年、「ゲーテ『旅人の夜の歌』考」1988年、「宮崎駿監督作品『千と千尋の神隠し』における心のヨーロッパ」(最終講義)2008年、以上昭和大学紀要、「芥川龍之介『藪の中』覚え書」、1977年、同人誌雪崩、他多数。1997年より小平福音集を自宅にて開催(聖書を読む会、古典を読む会)。

ヨベル

YOBEL Inc. 〒113-0033

東京都文京区本郷4-1-1

T 03-3818-4851

F 03-3818-4858

<http://www.yobel.co.jp>

5月30日(金) 発売予定

 **サンパウロ** 新刊案内



イエスの胸もとで

— 心が心に話しかける時 —

ある司祭の祈りの日記

ベネディクト会のある修道士／著

ジョンソン伸子／訳 オカロール・ハリー／監修

静寂の祈りの中で、主であるイエスは、いつでも私たちの心に語りかけておられる。本書は、ひとりのベネディクト会士が、日々の聖体礼拝の中で感じた、イエスとマリアからの霊的な語りかけを心に留め、それを霊的体験として日記形式につづった霊的魂の記録である。人は生きること疲れ、愛に対する魂の渇きを覚えるときがある。イエスは、その疲れた心を癒し導くために、いつも語りかけておられる。本書は、その癒しのことばに耳を傾けるための参考となるに違いない。

監修者 **オカロール・ハリー**

アイルランドで生まれる。聖コロバン宣教会司祭 (S.C.C.)。1970 年に来日。現在、熊本県八代・水俣の両カトリック教会の主任司祭。数年前、In Sinu Jesu の著者に、本書の日本語訳を依頼された。(すでに 14 カ国語に翻訳されている。) 今、すべての教区に必要なのは永久聖体礼拝であるという信念を持っている。

翻訳者 **ジョンソン伸子**

熊本県に生まれる。日英同時通訳者。
熊本学園大学で英語翻訳法、通訳法の講師 (2004 ～ 2016)。
日本カトリック女性団体連盟会長 (2024 ～)。
世界カトリック女性団体連盟の日本担当者 (2008 ～)。

訳 書

『水と風と光と』(熊本県発行 1993 年)
写真集 Sky and Sea: Heartbeat of the Earth (熊本県発行 2001 年)
阿毛作品集 (ギャラリー新大陸発行 2021 年)

• A5判 • 464頁 • 並製 • 定価 4,400円 (本体4,000円+税) • ISBN978-4-8056-0487-8 C0016



主イエスの誕生のときから 弟子たちと さまざまな民衆との出会いまで

福音書には、イエスの誕生に始まり、幼少期、受洗、宣教、癒し、論争などを経て、十字架、復活にいたるイエスの生涯におけるさまざまな「出会い」が書き記されており、そこには、あらゆる立場の人たちが信仰へと導かれる姿が見られる。

本書は、イエスの生涯におけるさまざまな出会いを、網羅的に取り上げている。

四つの福音書には並行記事も多い。その中で代表的なものが、さらに、使徒言行録のパウロとの出会いも取り上げられている。

〈著者紹介〉

山本清 (YAMAMOTO Kiyoshi)

- 1938年 西宮市生まれ。小学校から大学卒業まで、堺市浜寺で育つ。
- 1954年 高校1年のクリスマスに大阪北教会高岡清三牧師より受洗。
- 1962年 大阪大学工学部構築工学科卒業後、株式会社日建設計で定年まで勤務。
建築設計および都市計画コンサルタント業務に従事。
- 1969年 日本キリスト教会大阪北教会長老に任職。
- 2000年 日本キリスト教会神学校に入学。2003年修業。
- 2003年～2022年 日本キリスト教会米子伝道所で伝道牧会。
- 2022年4月末で引退教職となり、泉北伝道所等で説教応援。

一麦出版社の新刊

◎ 6月18日発売

『イエスに出会った人びと』

—— 説教集 上巻

定価3300円（本体3000円＋消費税）
A5判・440頁 山本清

ISBN978-4-86325-161-8 C0016



弟子たちへの教育のとき 敵対者たちとの論争の場での出会い

福音書には、イエスの誕生に始まり、幼少期、受洗、宣教、癒し、論争などを経て、十字架、復活にいたるイエスの生涯におけるさまざまな「出会い」が書き記されており、そこには、あらゆる立場の人たちが信仰へと導かれる姿が見られる。

本書は、イエスの生涯におけるさまざまな出会いを、網羅的に取り上げている。

四つの福音書には並行記事も多い。その中で代表的なものが、さらに、使徒言行録のパウロとの出会いも取り上げられている。

〈著者紹介〉

山本清 (YAMAMOTO Kiyoshi)

- 1938年 西宮市生まれ。小学校から大学卒業まで、堺市浜寺で育つ。
- 1954年 高校1年のクリスマスに大阪北教会高岡清三牧師より受洗。
- 1962年 大阪大学工学部構築工学科卒業後、株式会社日建設計で定年まで勤務。
建築設計および都市計画コンサルタント業務に従事。
- 1969年 日本キリスト教会大阪北教会長老に任職。
- 2000年 日本キリスト教会神学校に入学。2003年修業。
- 2003年～2022年 日本キリスト教会米子伝道所で伝道牧会。
- 2022年4月末で引退教職となり、泉北伝道所等で説教応援。

一麦出版社の新刊

◎ 6月18日発売

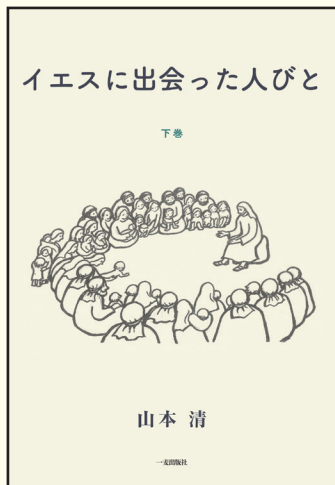
『イエスに出会った人びと』

—— 説教集 中巻

定価3520円（本体3200円＋消費税）
山本清

A5判・466頁

ISBN978-4-86325-162-5 C0016



エルサレム入城から 十字架・復活に至るまでの出会い

福音書には、イエスの誕生に始まり、幼少期、受洗、宣教、癒し、論争などを経て、十字架、復活にいたるイエスの生涯におけるさまざまな「出会い」が書き記されており、そこには、あらゆる立場の人たちが信仰へと導かれる姿が見られる。

本書は、イエスの生涯におけるさまざまな出会いを、網羅的に取り上げている。

四つの福音書には並行記事も多い。その中で代表的なものが、さらに、使徒言行録のパウロとの出会いも取り上げられている。

〈著者紹介〉

山本清 (YAMAMOTO Kiyoshi)

- 1938年 西宮市生まれ。小学校から大学卒業まで、堺市浜寺で育つ。
- 1954年 高校1年のクリスマスに大阪北教会高岡清三牧師より受洗。
- 1962年 大阪大学工学部構築工学科卒業後、株式会社日建設計で定年まで勤務。
建築設計および都市計画コンサルタント業務に従事。
- 1969年 日本キリスト教会大阪北教会長老に任職。
- 2000年 日本キリスト教会神学校に入学。2003年修業。
- 2003年～2022年 日本キリスト教会米子伝道所で伝道牧会。
- 2022年4月末で引退教職となり、泉北伝道所等で説教応援。

一麦出版社の新刊

◎ 6月18日発売

『イエスに出会った人びと』

—— 説教集 下巻

定価 3740 (本体 3400 + 消費税) 円

A5判・484頁

ISBN978-4-86325-163-2 C0016

山本清



真の自己となる旅路

歪んだ自己イメージからの解放

豊田信行 著

マスターピース
あなたは神の最高傑作品

自己に執着せず、自分を健全に愛するとは？ キリスト者が捨てるべき自分とは何なのか？ 神から愛されているように自分を愛し、他者を愛し、そして、神を愛するために。

四六判 308頁 定価2,530円(本体2,300円+税)

ISBN978-4-264-04589-2 C0016

いのちのことば社商品番号 14025

うけとろう へいわ

こどもとおとなに
おくる 十のことば



ぶん きたじまみねこ
え とばあかし

聖書の「十戒」に聴く愛と平和のメッセージ。前半は子ども向けに書かれた美しい絵本、後半は大人向けの証しエッセイ。幼少に戦争を経験し幼稚園教諭として子どもに向き合ってきた著者の長年の祈りが形となった、平和を語り継ぐ珠玉の一冊。

戦後80年記念発行。

(本書は2023年に制作され自費出版されたものを、
2025年にいのちのことば社より発行)

A4変型判 44頁(タテ220×ヨコ210ミリ)
定価1,320円(本体1,200円+税)
ISBN978-4-264-04584-7 C0016
いのちのことば社商品番号 24960

カイロスブックス



四六判 104頁 定価1,100円(本体1,000円+税)
ISBN978-4-264-04591-5 C0016
いのちのことば社卸コード 29495

今、「平和」とは何か 戦後八十年のキリスト教平和学入門

豊川慎 著

戦争がない状態＝平和なのか。ロシアのウクライナ侵攻、深刻化するイスラエル・パレスチナ紛争、「戦争の時代」と言わざるを得ない状況だけでなく、差別・貧困・抑圧などの「暴力」がはびこる世界で「平和」をどう考えるのか。戦後 80 年に平和構築について考える「平和学入門」

豊川慎（とよかわ・しん）

1977 年生まれ。関西学院大学神学部、東京基督教大学共立基督教研修センター修士課程、キリスト教学術研究所大学院修士課程（Institute for Christian Studies, Toronto, Canada）、アムステルダム自由大学大学院哲学部修士課程、聖学院大学大学院博士後期課程修了。博士（学術）。現在、関東学院大学理工学部准教授。大学宗教主事。専門はキリスト教倫理、キリスト教平和学。

カイロスブックス



四六判 114頁 定価1,100円(本体1,000円+税)
ISBN978-4-264-04590-8 C0016
いのちのことば社商品番号 29365

平和へのはじめの一步 対話と共生の道

朝岡勝 著

目の前の人「だれ」かがわからないとき、人は相手に対して恐れを抱く——ますます多様化する社会の中で、共に生きていくために何ができるのか。「自分の名を告げる」「相手の名を呼ぶ」など身近な人との間で「私」ができることから、平和への一步を踏み出すことを試みる。

朝岡 勝（あさおか・まさる）

1968 年、茨城県出身。東京基督教短期大学、神戸改革派神学校卒。日本同盟基督教団多磨教会牧師。著書に、『ニカイア信条を読む』『ハイデルベルク信仰問答を読む』『増補改訂 「バルメン宣言」を読む』『喜びの知らせ』『剣を鋤に、槍を鎌に』『信じること、生きること』『三位一体の神と語らう』ほか（以上、いのちのことば社）、『大いに喜んで』『説教の聴き方 語られ、聴かれ、生きられるみことば』（以上、教文館）、『読みつつ生き、生きつつ読む 自伝的読書論』（キリスト新聞社）ほか。